資料1

議題１　新たな自治体情報セキュリティ対策について（岡崎市提出）

市名	回答	
	(1)更新して引き続き講じる対策(取組み内容)	(2)あらたに講じる対策(取組み内容)等
名古屋市	従来のαモデルを引き続き採用している。 （令和4年3月に機器更新を実施済。）	機器更新に合わせて以下の対策を講じた。 ・VDIの機器構成の見直しやストレージ(記憶装置)の強化による処理速度の向上 ・電子メールの添付文書の自動無害化 ・インターネット接続系にアプリ等を独自に管理するための専用環境を構築 ・インターネット接続系へのEDR管理ソフトを導入
豊橋市	LGWAN接続系環境からインターネット接続系環境へリモート接続しています。 また、メールのウィルスやスパムメールの対策、ウェブサイトの閲覧制限、ネットワーク機器による通信制限を実施しています。	ＰＰＡＰ対策として、オンラインストレージサービスの利用を考えています。現状容量の大きな添付ファイルを送付する場合のみ利用していますが、更新後はメールでのファイル送付は全てオンラインストレージサービスを想定しています。 ※PPAPとは、パスワード付きZIPファイルを送り、その後パスワードを送信する手順のこと。
岡崎市	本市では、次のとおり対策を講じています。 ・持ち出し不可設定（USBメモリ等の制限、ファイルの暗号化） ・二要素認証（ICカード認証） ・ネットワークの分割（アプリケーション仮想化） ・通信の無害化（メール、ファイルの無害化） 更新にあたり、地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドラインを遵守したαモデルにより、VDI/SBC方式（又はコスト面からセキュアWEBコンテナ等）を採用する方向です。	コスト面の課題がクリアできるのであれば、二要素認証として「顔認証」を、通信の無害化としてエンドポイントでの振る舞い検知（いわゆるEDR）等のセキュリティ対策の導入を検討しています
一宮市	業務をLGWAN系で処理するαモデルとして、3層分離を維持する。またメール、ファイルの無害化によるLGWAN系への取り込みや、LGWAN系端末からの仮想化技術を利用したインターネット閲覧を行う。	セキュリティ―ポリシー改訂版に記載された新しいファイル取り込み方式として、インターネットからLGWAN系にファイルを取り込む際に、無害化できないファイルについては、仮想コンテナ環境を利用しAIを用い危険因子がファイルに含まれていないことを確認し取り込む方式を予定している。
瀬戸市	三層分離を行ったことによりセキュリティ対策の強化が出来ていることと職員のセキュリティに対する意識の向上につながっていいるため引き続き三層分離を継続する。	技術的・物理的に新たに講じるセキュリティ対策は無いが、更なる人的対策として職員教育及び内部監査に力を入れている。
半田市	ネットワークの三層分離	αモデルを継承しつつ利便性を向上出来る仕組みを検討中
春日井市	αモデルを継続して採用する。	仮想ブラウザから仮想デスクトップによるインターネット閲覧と無害化処理を行ったファイルの自動取込みを実施予定。
豊川市	ネットワーク機器の更改時期が令和８年度であるため、具体的な対策については検討中の状態であるが、βモデルやβ’モデルへの移行を想定した対策を講じる必要があると考えている。	同左
津島市	三層分離や二要素認証等、原則現状の対策を引き続き実施します。	現時点では、新規のセキュリティ対策の導入は計画していません。
碧南市	現行のアルファモデルを継続。 （電子メールのパスワード付ZIPファイル添付は廃止）	オンラインストレージを契約。インターネット側へのアップロード時にファイル交換システムを使用せずアップロードできる仕組みやインターネット側からファイルをファイル交換システムを経由せず無害化ダウンロードできる仕組みを導入。今後は、情報漏えい対策として、ファイルサーバの暗号化等を検討する
刈谷市	令和４年度にNW分離に関するシステムの更新を行います。 利用するシステムは変更しますが、国が示しているαモデルの構成を継続します。 そのため、LGWAN接続系端末からインターネット接続系端末の画面を転送してWEBサイトを閲覧するシステムを引き続き利用していきます。	令和４年度の更新により、外部からのメールに関し、自動で無害化したファイルを再添付する仕組みを取り入れるなど職員の利便性を高めます。 また、メール送信に関してもPPAP方式を変更し、セキュリティを高める仕組みとします。
豊田市	（ア）許可された外部記録媒体以外の書込み禁止設定（「SKYSEA」で実現） （イ）無線LANの802.1X認証 （ウ）庁外施設と本庁間を専用線で接続	豊田市ではこれまでLGWAN系とインターネット系のネットワークを物理分離していた。これを見直して論理分離とし、各パソコンで接続するネットワークを自由に切り替えられる方式にする予定で、セキュリティリスクに対応するため、新たに対策を講じる。 （ア）ユーザーが任意にネットワークを切り替えられるが、LGWAN系とインターネット系に同時に接続することはできない設定 （イ）パソコンのハードディスク上で保存できる領域を制限する設定 ※LGWAN系とインターネット系それぞれに専用の領域を設定し、接続するネットワークにより他方の保存領域は使用できない。 ※（ア）及び（イ）の対策については、ハミングヘッズ社製「Security Platform」で実現する。 （ウ）各パソコンへのEDRソフトの導入 （エ）LGWAN系、インターネット系、マイナンバー利用事務系ネットワークの通信パケットを監視し、通常と異なる通信を検知するシステムの導入（トレンドマイクロ社製「Deep Discovery Inspector」） （オ）インターネットから取得したファイルをLGWAN系ネットワークに移動する時に、自動的にファイルを無害化するシステム（製品選定中）

資料1

議題１　新たな自治体情報セキュリティ対策について（岡崎市提出）

市名	回答	
	(1)更新して引き続き講じる対策(取組み内容)	(2)あらたに講じる対策(取組み内容)等
安　城　市	ファイル無害化等、既存環境で実施しているセキュリティ対策	PPAP対策
西　尾　市	インターネット環境との分離 メール及びファイルの無害化 画面転送方式によるインターネット閲覧	特にありません
蒲　郡　市	ファイルの暗号化、インターネットの仮想化、個人番号利用事務系での指紋認証	インターネットの仮想化のアプリケーションを更改し、自席端末でのweb会議が可能となった 個人番号利用事務系での多要素認証に従来の指紋認証に加えて、マイナンバーカードでの認証も可能とした
犬　山　市	マイナンバー利用事務系の端末における生体認証と、インターネット接続系を分離し、LGWAN接続系とは画面転送やメール無害化等の無害化通信のみ許可する対策については、今後も継続します。	検討中です。
常　滑　市	三層対策。	情報漏洩対策ソフトの導入。
江　南　市	引き続き、αモデルによる三層分離の中で下記の対策を実施 ・インターネット系からのメール無害化、ファイル無害化 ・LGWAN系からのインターネット閲覧をRDSで構築 ・フィルタリングソフトによるインターネット閲覧制御 ・資産管理ソフト等による資産管理とデータ持ち出し制御 ・ウイルス対策、パッチ適用 ・個人番号利用事務系における顔認証 ・スパムメール対策	無
小　牧　市	αモデルを採用しており、仮想デスクトップによるインターネット接続を実施	特になし
稲　沢　市	３層（個人番号利用事務系、LGWAN接続系、インターネット接続系）の分離 αモデルでの運用	外部持ち出しファイルを自動暗号化するシステムの検討
新　城　市	本市では総務省の提示するαモデルを従来の三層分離を強化したところである。	具体的に提示できる計画はない。αモデルの導入によりコミュニケーションツールの導入に支障をきたしているのが現状である。
東　海　市	端末へのウイルス対策ソフトの導入、メール無害化	大容量アップロードシステムを用いたPPAPの防止、外部記録媒体を用いない系統間のデータ転送
大　府　市	現在の（強靭化当初から講じている）対策については、全て引き続き対策を講じる	特になし
知　多　市	現在のαモデルを継続する予定。	ガイドラインに新たに追記された対策について、順次手順の策定や対応を実施する予定。
知　立　市	・マイナンバー利用事務系、内部情報系、及びインターネット系ネットワークの分離 ・インターネット系から内部情報系へのファイル転送時の無害化処理	・外部（インターネット系）とのファイル共有方法を、メールからファイル共有システムへ変更予定
尾 張 旭 市	ウィルス対策ソフトの導入、ファイル無害化システムの運用、セキュリティ研修の実施	未定
高　浜　市	引き続きαモデルを選択し、インターネット分離、ファイル及びメールの無害化対策を講じる予定です。	検討中です。
岩　倉　市	引き続きαモデルでの三層のセキュリティ対策を講じていく。	特になし。
豊　明　市	「三層の対策」（αモデル）の継続を基本とし、RDS環境の更新を予定している。無害化処理、データ移行運用等、平成28年度当初の仕組みを継続する。	現時点で新たな取組は予定していないものの、クラウドサービス利用や標準化、オンライン化等が進む中でどのようなネットワーク構成並びにセキュリティ対策が望ましいかを研究していく必要があるため情報収集していきたい。
日　進　市	ネットワークの三層分離（αモデル） ・SBC（Server Based Computing）によるインターネットアクセス ・ファイル／メール無害化	特になし
田　原　市	・αモデルでの基幹系・LGWAN系・インターネット系の三層分離 ・三層間でのデータやり取りの際の無害化システム導入 ・インターネット接続でのあいち情報セキュリティクラウドの利用	新たな対策はありませんが、更新にあたりネットワーク・サーバ機器やソフトウェアをセキュリティが高く、管理がしやすい最新のものに更改している。
愛　西　市	情報系、基幹系及びインターネット系端末の物理分離、情報セキュリティ担当職員による各端末へのデータ移行、Ｊ－ＬＩＳのリモートラーニング等を活用した職員へのセキュリティ教育。	特になし。
清　須　市	引き続きαモデルで更新する	無
北名古屋市	北名古屋市では現在運用しているαモデルを継続した運用を想定しており、現在の機器を更新して同様のセキュリティ対策を予定しております。	現状のαモデルを継続するため、新しく対策を講じる予定は特にありません。

資料1

議題１　新たな自治体情報セキュリティ対策について（岡崎市提出）

市名	回答	
	(1)更新して引き続き講じる対策(取組み内容)	(2)あらたに講じる対策(取組み内容)等
弥　富　市	メールを介したウイルス感染を防ぐため、ファイル無害化処理を安全かつ容易な手段で実施。また、端末使用者を限定し、生体認証も合わせて実施。	―
みよし市	原則、現在と同等の内容で更新します。	強靭性向上について新たな取り組みは予定していません。
あ　ま　市	三層の対策を保持し、現行の対策を継続して利用します。	インターネットの閲覧環境を高セキュリティ化・管理負担軽減により、画面転送方式を採用予定。
長久手市	・ウィルス対策ソフトの利用 ・インターネット-LGWANセグメント間の無害化処理 ・資産管理ソフトによる端末制御（データ持ち出し時の暗号化など）	・庁外NWへのデータ送付時の自動暗号化